

全国初の 雨水調整ダムを建設

水害防止に 伝法沢川片倉地先へ

市は、全国でも初めての試みといわれる、水害防止用の雨水調整ダムを大淵片倉地先に建設します。

この調整ダムは、小潤井川の上流部分である伝法沢川の雨水を一時ストップさせ、吉原市街地の水害を防ごうというもの。

事業計画では、昭和55年度に測量・地質調査・56年度用地買収・57年度工事着手、58年度完成の予定です。

調整ダムは、全体事業費7億2,000万円でドンブリ型の地形を利用して、高さ14.5m、幅35m、天端幅4mのえん堤で、5万トンの雨水を溜めることができます。

たび重なる水害にメス

吉原市街地を流れる小潤井川は、大雨のたびに氾濫。特に同川と国道139号線が交差している附近の住宅は床上・床下浸水の被害が続出。

このため、現在、河川改修や下流部の拡幅工事はおこなっているものの、抜本的解決とはならず、その対策が望まれていました。

そこで考えられたのが小潤井川の上流部分、伝法沢川へのダム建設案。

市は、ダム建設を県と国に働きかけた結果、総合治水対策雨水貯溜事業にもとづく国の補助を受け、市の事業として、今後実施してゆきます。

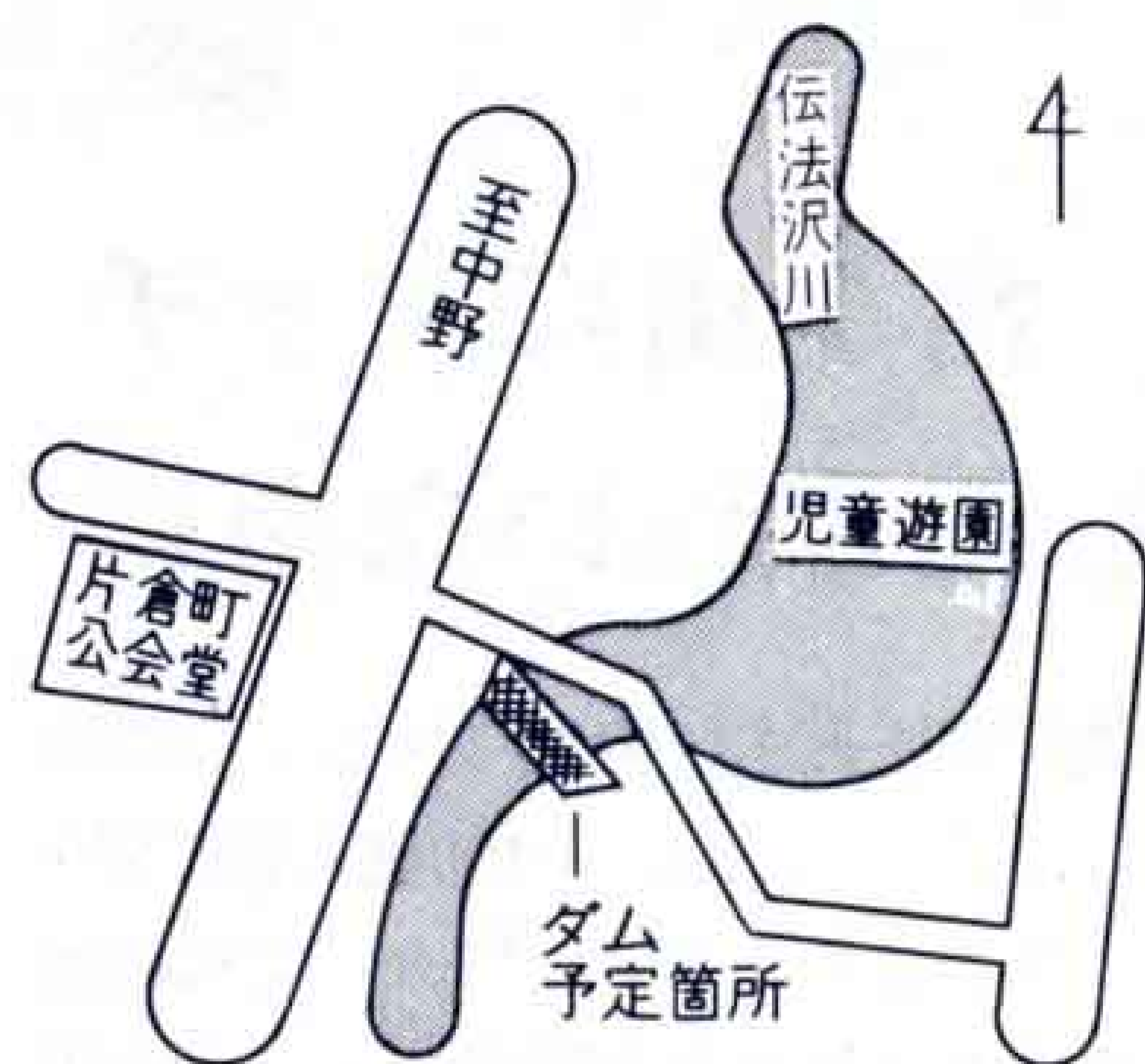
沢をせき止めて 全国初の試み

この調整ダムが完成すると、今まで1時間30ミリ以上の雨が降ると氾濫していた小潤井川でしたが、相当量の雨にも対処できるようになります。

このように、雨水の水害防止対策を目的として沢をせき止めて造るダム建設は、全国でも初めてといわれ、関係者の注目を集めています。

市は今後、富士山麓の溪谷を利用しながら各所に小規模のダムを建設し、下流部市街地の水害防止対策をすすめていきます。

ダム建設予定地



ダム建設予定の伝法沢川片倉地先



老人部屋を増築したいが…

(おたずねします) 私の家族は、両親と妻、子ども2人の6人ですが、家が少し手狭なため増築しようと考えています。

この資金の一部をどこかで借りた

いと思っていたところ、先日友達から老人と同居している場合、市に低利で資金を融資してくれる制度があると聞きました。

貸付の条件など詳しいことを教えてください。(一市民)

(おこたえします) おたずねの制度は、老人居室整備資金貸付制度です。

これはおとしよりと同居し、部屋数が少ないので増改築したい人、これから一緒に住むのに老人部屋をつくりたいという人に、建築資金を融

資します。融資の条件などは次のとおりです。

- ◆申込み資格のある人
60歳以上のおとしよりと同居する親族、またはおとしより本人で市税を完納している人。
- ◆貸付額 1世帯100万円まで
- ◆貸付利率 年3%
- ◆返済 最長10年の月賦返済
- ◆連帯保証人 2人
- ◆受付期間 一定の期間(5月・9月)に受付
申込み、問い合わせ先は市社会課です。(市社会課)